



第45号

平成24年3月29日

**JASWHS** 公益社団法人 日本医療社会福祉協会  
Japanese Association of Social Workers in Health Services

## 東日本大震災 MSW災害支援ニュース



群馬県高崎市の榛名梅林

### 目次

1. 災害対策本部からのお知らせ
2. 災害支援SW報告会の報告
3. 現地・事務所感想文

## 災害対策本部からのお知らせ

### 現地・事務所協力員募集！！

引き続き、現地・事務所協力員を募集しています。

特に現地は、4月1日以降（4月13～15日除く）、協力員が不在の状況です。

新年度を迎えお忙しい時期とは思いますが、現地でも皆様のお力を必要としています。

初めての方もぜひご協力をお願いいたします。

### 現地・事務所職員募集！！

現担当者の任期満了にあたり、下記の職員を募集します。

災害支援に関心のある方からのご応募をお待ちしております。

または周りでご興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介下さい。

#### (1) 現地常駐者（短期契約職員） 2名

- ・就業場所：宮城県石巻市大街道北
- ・就業時間：9～17時
- ・休日：土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・基本給 250,000円/月 通勤費は実費支給
- ・社会保険加入
- ・医療ソーシャルワーカー業務経験必須
- ・4月より勤務開始希望

#### (2) 災害対策本部事務所担当（パート職員）1名

- ・就業場所：協会事務局内
- ・就業時間：週4日程度 10～17時
- ・休日：土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・時給 900円～ 通勤費は実費支給
- ・経験不問、医療ソーシャルワーカー業務経験者優遇
- ・4月より勤務開始希望

**\*業務の都合等により残業や休日出勤となることがあります。**

ご応募の方は下記宛に履歴書をお送り下さい。面接にて決定させていただきます。

または災害対策本部までお気軽にお問い合わせ下さい。

〒162-0065 東京都新宿区住吉町 8-20 四谷チンゴビル

TEL：03-5366-1057 担当：笹岡・中川・一原

### Facebookでも情報をお伝えしています！



現地や災害対策本部の日々の様子をお伝えしています。

Facebookのアカウントをお持ちでない方もご覧いただけます。

お持ちの方は、「いいね！」やコメントを寄せていただくと、現地のSWも本部も励みになりますので、どうぞよろしく願いいたします。

-Facebook URL-

<http://ja-jp.facebook.com/pages/公社日本医療社会福祉協会-災害対策本部/156327867812970>

## ソーシャルワーク教育団体連絡協議会より

### 寄付金をいただきました！！

日本社会福祉士養成校協会・日本社会福祉教育学校連盟・日本精神保健福祉士養成校協会の3団体で構成されるソーシャルワーク教育団体連絡協議会（ソ教連）に集まった義援金が、この度、被災地支援活動に従事する団体へ寄付されることとなり、うち591,713円が当協会に配分されました。温かいご厚志に心より感謝申し上げます。

いただいたご寄付は、支援活動の継続のために活用させていただきます。

## チーム医療推進協議会より

### 「災害用ハンドブック」が発行されました！！

当協会も参加する「チーム医療推進協議会」から、ハンドブック「災害時におけるメディカルスタッフの役割」が発行されました。

東日本大震災後、さまざまなメディカルスタッフが開始した支援活動は、そのほとんどが多職種が協働する「チーム医療」であったにもかかわらず、「チームメンバーの専門性やスキル」「仕事内容」が、行政や一般の方によく知られていなかったため、各職種が支援の入り口で対応に時間をとられてしまったという話もありました。

そこで、このハンドブックでは、平時から、行政や一般の方々に、災害時メディカルスタッフがどのような支援と助言ができるかを伝える、そして非常時にすみやかな活動開始につなげる目的で発行されました。今回の支援活動から学んだことを伝える日本医療社会福祉協会のページもあります。

今後、各都道府県協会に配布します。また、この冊子は、チーム医療推進協議会のホームページでも紹介されています。(URL：<http://www.team-med.jp/>)



さらに、チーム医療推進協議会では、東日本大震災での支援活動の経験から、13団体の提言をまとめ、各省庁に対して提言書を提出することになりました。

日本医療社会福祉協会からは、下記を提言しています。

- ①災害発生後に「要介護・容易量・要援助者」のニーズ発見のための通称ローラー作戦を展開する体制を構築すること
- ②災害対策に、「福祉避難所」を設置すること
- ③遠隔避難について見直しを行うこと
- ④災害救助法に医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）の職名を明記すること

## 災害支援 SW 報告会の報告 in 大阪

藤田 譲（大阪医療ソーシャルワーカー協会会長）

去る3月13日（火）19時より、大阪協会事務所にて日本協会との共催という形で「災害支援 SW 報告会」開催いたしました。3月2日～4日の3日間、石巻での支援活動に参加した3名の報告を軸に、災害対策本部より頂いた資料をご紹介しますながら、参加者と意見交換を行いました。

参加者は27名と事務所は大混雑でした。石巻での具体的な活動内容についても「1日のスケジュールは？」「仮設住宅への訪問は？」「今後の活動全体の見通しは？」などなど熱心な質問をお受けし、多くの方が活動への参加を前向きに考えてくださっていることを知った次第です。早速、4月に参加するチーム編成の相談もでき、次年度に向けて心強い限りでした。

後日、支援活動を「プロジェクト-i」と名付けました。Ishinomaki の「i」はもちろん、たくさんの「i」を込めたネーミングです。皆さんと一緒にたくさんの「i」を届けることができれば・・・願っています！



報告会の様子

## 現地感想文

### 3月19日(月)

冬型の気圧配置、風は強く、23メートル/時との事でしたが、光は春。明日は祭日ですが、仮設廻りを予定しています。閉じこもっている方にも、「春」を届けたいです。

### 3月20日(火)

朝起きたら、車の屋根には雪！やはり彼岸荒れでしょうか？でも陽射しは春の明るさ。あっという間に雪は跡形もなく溶けました。

中辻さんが来て、小塚さんが帰られ、午後からは研修に。祭日とはいえ、充実した1日でした。

### 3月21日(水)

強い風で、迷ったのですが…。若い中辻さんの力を信じて、牡鹿まで行きました。途中一つずつ、仮設を見つけポスティングして歩いたのですが、強い風と、スリル溢れる道路事情、波の打ち寄せる海辺の道に時間を食いました。食事するところもないまま、2時過ぎに寄った団地で、なんとご接待に！尋ねる予定の支所保健師さんの友人とのことで暖かいうどん、ご飯、漬物、ぼた餅と鍵持ちさんが談話室にてごちそうして下さいました。お昼抜きかも！との状況でしたが、助けられました！

瓦礫の埃とハードな運転で疲れた中辻さんは近くの天然温泉「元気の湯」に行っています。私もお家のお風呂で快適です。明日は石巻工業高校、応援してください！

### 3月22日(木)

昼到着予定の方が道路事故で2時間渋滞。到着を、今かいまかと待ち受ける間、石巻工業高校甲子園の試合を応援。ハラハラドキドキ、歓声とため息を、たくさんの方、ボランティア、マスコミと共有しました。今日の会議も、冷え込んできた夜にもかかわらず熱い討論でした。

宿舎に戻ってからも、ニュースに再び興奮！石巻球児よく戦った！

### 3月24日(土)

昨夜は雪！どうなることかと思いましたが、昼には暖かい日差しが雪を消し去り、暖かい鴨川の子もたちを優しく迎えてくれました。朝5時に起きてバスを走らせ、午後2時に到着。門脇小学校（津波・火事で廃校）で献花、3時からYOU コミュニティーホールでコンサート。「命のうた」「明日を信じて」などの心に染み入る詩に、観客も涙！交流会に、参加した地元の方も、子どもたちも素晴らしい心の通い合う時間が。かわいい活け花のプレゼントとコーラスに、涙のお別れでした。

ビデオカメラを回す中辻さんの目にも涙が…。石巻の皆さんには春が、子どもたちには強く生きる未来がプレゼントされたコンサートでした。

北海道グループ、頼もしい人数で、お誘い、会場設営、片付け、観客誘導と有難い存在でした！明日も、ポスティングも含め、機動力がうれしい仲間たちに、こちらも元気が出ます！

### 3月25日(日)

晴れ、雨、曇り、晴れ、雨・雪 と目まぐるしい1日でした。コンサートは大成功、遊楽館館長・担当石森氏が、垂れ幕や案内ポスターなど、しっかり用意して下さい「がんばろう」の青いタオルもお土産に下さいました。高校生の子もたちが、寒い中、仮設各戸を歩き、車いすの方の家にもお邪魔してお誘い。グランドピアノの伴奏で、素晴らしい演奏会でした。市立病院看護師さんの感想とお礼の言葉もいただき私たちMSWにも最後に感謝の気持ちのこもった歌もプレゼントされ・・・MSWから、「I love 石巻」のシール(ふれあい商店街工房作成)をプレゼントしました。

2日間の支援、北海道の4人は大活躍でした！最期は、偶然専修大学で語り部さんの話に。なかなか、できない経験をしていただけました。鴨川の春の花をお土産に大事に持って帰られました。お疲れさまでした！

## 事務所感想文

3月19日（月）

藤村（初台リハビリテーション病院）

呉市医師会病院の碓井さんが本日・明日と事務所ボランティアとして活動してくださいます。遠方からの参加に感謝すると共に、大変心強く思いました。

碓井（呉市医師会病院）

マニュアルを見ながら、午後からは初めてで一人で過ごすという事になりましたが、あっという間でした。HPの現地カレンダーがうまく更新できず、焦りました。（更新できていません。）

3月20日（火）

碓井（呉市医師会病院）

リレー方式で業務を続けていくためのマニュアルなど、日々の業務の参考になる点が多かったです。また機会があれば参加やお手伝いができたらと思いました。他の広島県 SWにも伝えられたらと思います。昨日の現地カレンダーが更新されていて安心しました。

3月21日（土）

東（初台リハビリテーション病院）

3月31日で、被災地支援の高速道路無料の制度が終了します。県庁の話では4月以降の継続はない様子です。制度がなくなり、支援者側の負担は減るかもしれません。でも、まだまだ現地にサポートは必要です。支援継続には、『気持ち』も『人』も大切ですが、それと同じくらい『お金』も必要なのだなあと感じさせられました。

3月24日（土）

左右田（初台リハビリテーション病院）

大阪府協会の方、新潟県協会の方から4月の現地活動の応募をいただきました。有難く心強く思います。微力ながら事務所でのボランティア活動に参加させていただき、多くの方とのつながりを深めることができ感謝致します。